

2026年1月13日発行

東海生研 ～メールマガジン 第253号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2025年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆「アグリビジネス創出フェア in 東海」のweb展示について

2025年度の「アグリビジネス創出フェア in 東海」出展機関のデータ（映像、テキスト等）を東海生研ホームページ上で2026年1月16日（金）まで公開しています。

<https://www.biotech-tokai.jp/>

≪12月10日、名古屋大学内、野依記念学術交流館（アグリビジネスフェア開催日）に紺色のウィンドブレーカーの忘れ物がありました。心当たりの方は事務局までお問い合わせください。≫

☆2026年度「あいち中小企業応援ファンド新事業展開応援助成金（地場産業枠・農商工連携枠）」の募集開始について

あいち産業振興機構では、中小企業者等が行う地域資源を活用した新製品（商品）開発、販路拡大などの新事業展開を支援するため、「あいち中小企業応援ファンド新事業展開応援助成金」を実施しています。

1 募集期間 2025年12月8日（月）から2026年1月16日（金）まで（要事務局による事前確認）

2 対象者 中小企業者等（中小企業者、中小企業者グループ、小規模企業者、中小企業者団体、一般社団法人及び一般財団法人）

3 助成金区分

(1) 新事業展開応援助成金（地場産業枠） 県内の地域資源を活用した新事業展開のために行う事業（主要地場産業〔食料品（飲料・飼料含む）、繊維工業、家具・装備品、窯業・土石製品、伝統的工芸品産業 15種類業種〕

(2) 新事業展開応援助成金（農商工連携枠） 県内の地域資源の農林水産物を活用して、あいち産業科学技術総合センターや愛知県農業総合試験場等と連携して行う事業

4 対象事業（両助成金区分共通） (1)新製品（商品）開発、(2)販路拡大、(3)人材育成（(1)、(2)につながるもの）

5 申込み・問合せ先

公益財団法人あいち産業振興機構新事業支援部 地域資源活用・知的財産グループ

TEL052-715-3074 FAX 052-563-1438 <https://www.aibsc.jp/support/1182/>

.....

2. その他の地域でのセミナー・シンポジウム・会議等（オンライン開催があるもの）

☆東北地域農林水産・食品ハイテク研究会

国産小麦セミナー「パン・中華麺用小麦「夏黄金」の新たな食品への利用拡大に向けて」

開催のお知らせ

○セミナーの内容

1) 小麦品種「夏黄金」の加工適性評価

農研機構東北農業研究センター 畑作園芸研究領域 池永幸子氏

2) 栽培事例報告

(1) 宮城県の事例

宮城県古川農業試験場 作物栽培部 佐々木崇氏 (仮)

(2) 福島県の事例

福島県農業総合センター 作物園芸部畑作科 佐藤郁恵氏 (仮)

(3) 新潟県の事例

新潟県農業総合研究所 作物研究センター栽培科 佐藤徹氏 (仮)

3) 商品開発の取組み

(1) 宮城県における「夏黄金」のピザへの利用について

株式会社小川製粉 小川祐史氏

(2) 新潟県における「夏黄金」のパンへの利用について

丸榮製粉株式会社 大谷勝男氏

(3) 福島県における「夏黄金」のラーメンへの利用について

喜多方商工会議所 企業課 佐藤慎之介氏

(4) 福井県、石川県における「夏黄金」への期待

金沢製粉株式会社 寺田将紘氏

4) 意見交換

「夏黄金」の新たな食品への利用拡大に向けて

日時：令和8年1月22日(木) 13:15~15:00

開催形態：オンライン開催 (Zoom (ウェビナー) を使用)

参加費無料。定員：400名様。

☆2025年度近畿アグリハイテク公開講演会

《講演》

農作物の状態や作業内容に合わせてカスタマイズできる装置や機械、

無いなら自作してしまおう。それも低コストで！

～課題解決から生まれる農家発イノベーション～

第1部 (各演者のプロフィールは下記のチラシをご覧ください)

1. 生育環境と植物の個性をうまく調和させ、安価に手に入れられる機械を自作し、作業を省力化

稲清農園・副代表 稲山 純生さん (大阪府柏原市)

2. 観測データに基づき自作でハウス内の環境制御を自動化、目指す経営に向けてバージョンアップ

あゆみ農園・代表 西 歩さん (和歌山県岩出市)

3. 現場の課題を創意工夫で解決！

安価、安全、コンパクトな「選果ロボット」を開発、製品化し、農家の高齢化・人手不足に貢献

専業農家（株式会社イモテック代表取締役） 塩川 武彦さん（埼玉県川越市）

第2部

参加者交流会（技術に関する質問、現場課題やアイデアなどの情報交換）

日時：2026年2月20日（金）13：00～16：20

場所：キャンパスプラザ京都 4階第2講義室

主催：NPO法人近畿アグリハイテク

☆令和7年度農研機構つくば植物工場研修会

「需要予測と収量・品質予測による計画的な生産技術」

近年、異常気象などによって、農産物の需給バランス調整が困難になり、食品ロスの深刻化が進むと同時に、他方で有利販売機会の消失を招いています。

これらの課題を解消するため、令和4～6年度にかけて農産物直売所をターゲットとして、需要を予測しながら計画的・効率的に生産するマーケットイン型農業生産体系を構築するとともに、施設園芸における土地生産性向上を目指した実証プロジェクトが実施されました。そこで得られた計画生産技術の有効性事例を紹介し、スマート農業技術の社会実装を促進するため、農研機構つくば植物工場研修会を開催します。

事前予約のうえ、ぜひご参加ください。

日時：2026年1月19日（月）13時00分～16時30分

主催：農研機構 野菜花き研究部門

共催：（一社）日本施設園芸協会

「スマート農業実証プロジェクト」露地野菜・花きおよび施設園芸体系

詳細：<https://www.naro.go.jp/event/list/2025/10/172046.html>

.....

3. 2025年度の競争的研究資金について

【研究開発関連】

■省庁等

☆JST：「2025（令和7）年度 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム（A-STEP）実装支援（返済型）」

☆JST：「ベルモント・フォーラム CRA（共同研究活動）課題募集」

■民間等

☆公益財団法人山田科学振興財団：「2026年度研究援助」

☆公益社団法人新化学技術推進協会：「第15回新化学技術研究奨励賞」

2025年度の競争的研究資金については東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲

載していますのでご覧ください。<https://www.biotech-tokai.jp/>

.....

4. その他の情報

(1) 新技術情報

☆園芸関係

ラクに、安価に、元肥をまきましよう！露地イチジクの新型肥料を開発

愛知県の露地イチジクほ場では、長年にわたる栽培により、リン酸やカリウムが蓄積したほ場多くなっています。そこで当场では、リン酸とカリウムの含有量を抑えることで従来型肥料より施用量を10a当たり40kg分減らすと共に、作業性が良いペレット状にしてラクに撒ける新型肥料をJAあいち経済連と開発しました。

新型肥料を用いた施肥体系は従来型肥料の体系と比べて15%程度安価になります。また、当场のイチジクほ場における連用試験では、生育や収量性について従来型と遜色のない結果が得られました。この肥料は、「いちじく有機配合(8-2-2)」として2024年より供給されており、ラクで安価な施肥体系の実現に向けて普及が進んでいます。

(愛知県農業総合試験場 園芸研究部)

本研究は「全国農業協同組合連合会肥料委託試験」で実施しました。

愛知県農業総合試験場 研究短報 No. 143 2025年11月

<https://www.pref.aichi.jp/site/nososi/>

☆畜産関係

理想の“さくら色”卵を求めて

～名古屋コーチン卵殻の色彩可視化システムを開発～

名古屋コーチンの卵は卵殻の鮮やかなさくら色と、その多くで卵殻表面に白い斑点がみられるのが特徴で、その外観から「桜吹雪」と呼ばれています。卵殻色は育種改良の重要な項目の一つであり、現在は分光測色計による測色と、外観の目視で評価しています。しかし、測色値だけでは人の目で見たときの色がイメージしづらい上、後から実際の色を再確認することができないという課題がありました。今回開発したシステムは、測色値をPCの画測色値の表示例面上に図で示し可視化することで、他の卵やコーチン卵の理想的なさくら色と視覚的に比較できます。また、過去の測色データの検索や表示もでき、今まで難しかった過去データとの比較も可能となりました。作業時間は従来より大幅に短縮され、測色・評価作業が省力化されました。現在、システムの精度の向上に取り組んでいます。鮮やかなさくら色の卵をお届けできるよう、このシステムを活用し、効率的に名古屋コーチンの育種改良を進めてまいります。

(愛知県農業総合試験場畜産研究部)

本研究は名城大学と共同で実施しました。

愛知県農業総合試験場 研究短報 No. 143 2025年11月

<https://www.pref.aichi.jp/site/nososi/>

.....

編集後記

新年、明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。本年も産学連携支援による事業化促進、地域活性化等を鋭意進めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====
特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 中山・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録 (無料) ご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>